年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　外国語　科目 フランス語

教 科： 外国語　科 目： フランス語　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 朝日出版社 Maestro1 （マエストロ１） ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 フランス語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自発的にやりとりや表現をするために必要なフランス語の音声、語彙、文法、文化的知識を身につける。	場面に応じて必要な情報を外国語で理解し、相互にやりとりする力を養う。	フランス語、フランスの文化に関心を持ち、積極的にフランス語での言語活動に取り組む態度を養う。 フランス語、フランス語圏の文化を自身の知る言語、文化と比較をし、異文化への理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A Premiers contacts / se présenter 【知識及び技能】 ・フランス語の文字、発音、数え方を理解する。 ・自己紹介に必要な表現を理解し、正しく発音することができる。 ・動詞 être の活用を理解し、適切に運用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フランス語の表現を自分に合わせて使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアまたはグループで協働し、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ・フランス語を運用して主体的に発信しようとする。	・指導事項 ・アルファベ、数 ・挨拶 ・自己紹介の表現 ・動詞être ・教材 朝日出版社 Maestro1 （マエストロ１）〝Premiers contacts〟〝Se présenter〟	○	○	○		○	【知識及び技能】 ・フランス語の挨拶を言うことができる。 ・自己紹介に必要な表現を理解し、正しく発音することができる。 ・動詞 être を主語に合わせて活用し、簡単な文を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フランス語の表現を場面や状況に合わせて使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フランス語で積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ・知っている言語と比較しながらフランス語の特性を理解している。	○	○	○	12
	B Parler de soi et des autres 1 【知識及び技能】 ・動詞 -er の規則を理解し、適切に運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フランス語の様々な動詞を与えられた状況に合わせて使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアまたはグループで協働し、問題に取り組む。 ・フランス語で積極的にコミュニケーションを図る態度を養う。	・指導事項 ・動詞 -er ・名詞の複数形 ・教材 朝日出版社 Maestro1 （マエストロ１）〝Parler de soi et des autres 1〟	○	○	○		○	【知識及び技能】 ・動詞 -er を活用し、簡単な文を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フランス語の様々な動詞を与えられた状況に合わせて使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアまたはグループで協働し、問題に取り組む。 ・フランス語で積極的にコミュニケーションを取る。	○	○	○	10
	期末試験と振り返り		○	○		○	○	・筆記試験と口頭試験の点数	○	○		4
2学期	C Parler de soi et des autres 2 【知識及び技能】 ・住んでいる場所の紹介の文を理解し、正しく運用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・対象に合わせて住んでいる場所を伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアまたはグループで協働し、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ・フランス語を運用して主体的に発信しようとする。	・指導事項 ・住んでいる国や都市を言う ・国籍 ・否定 ・数11～20 ・教材 朝日出版社 Maestro1 （マエストロ１）〝Parler de soi et des autres 2〟	○	○	○		○	【知識及び技能】 ・住んでいる場所の紹介の表現を理解し、簡単な文を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・対象に合わせて住んでいる場所を伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアまたはグループで協働し、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ・フランス語を運用して主体的に発信しようとする。	○	○	○	15
	D Parler de soi et des autres 3 【知識及び技能】 ・動詞 avoir の規則を理解し、適切に運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動詞 être と avoir の違いを理解し、使い分けができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	・指導事項 ・動詞 avoir ・不定冠詞 ・否定辞 de ・数20~60 ・教材 朝日出版社 Maestro1 （マエストロ１）〝Parler de soi et des autres 3〟	○	○	○		○	【知識及び技能】 ・動詞 avoir の規則を理解し、適切に運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動詞 être と avoir の違いを理解し、使い分けができる。 ・動詞 -er の活用と比較し、違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	○	○	○	11

	期末試験と振り返り		○	○		○	○	・筆記試験と口頭試験の点数	○	○		4
3学期	E Parler de son quotidien 【知識及び技能】 ・不規則動詞 faire, aller を理解し、適切に運用できる。 ・これまで学んだ文法事項を理解し、自分や他者についてフランス語で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまで学んだ文法事項、表現を応用し、自身の日常について他者にフランス語で伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・既習事項を活用しながら、グループワークを行う。	・指導事項 ・不規則動詞 faire, aller ・教材 朝日出版社 Maestrol （マエストロ１）″Parler de son quotidien″	○	○	○		○	【知識及び技能】 ・不規則動詞 faire, aller を理解し、適切に運用できる。 ・フランス語で簡単に自己表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまで学んだ文法事項、表現を応用し、自身の日常について他者にフランス語で伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・既習事項を活用しながら、グループワークをを主体的に行う。	○	○	○	14
												合計
												70